

中川・綾瀬川圏域 浸水予想区域図(改定)

1. 説明文

(1) この図は、中川、綾瀬川、新中川、旧江戸川、毛長川、大場川、伝右川、圀川、新川(雨水が海域へ直接排水される区域を含む。)を対象にして、大雨が降った場合に、浸水が予想される区域と想定される水深を表示したものです。これまでの浸水予想区域図は、大雨を「平成12年9月に発生した東海豪雨(時間最大雨量114mm、総雨量589mm)」としていましたが、今回の浸水予想区域図(改定)では「想定し得る最大規模の降雨」に変更しています。

(2) 皆様には、洪水の可能性について知っていただくことにより、「緊急時の水防、避難」、「水害に強い生活様式の工夫」等に役立てていただくをお願いします。

(3) この浸水予想区域図(改定)は、想定し得る最大規模の降雨が「対象とした区域」に降った場合に、シミュレーションにより予測される浸水の状況を示したものです。シミュレーションでは、対象とした地域における平成30年時点での河川及び下水道の整備状況等を考慮しています。

(4) 浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化することがあります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体 都市型水害対策連絡会(中川綾瀬川圏域)

(2) 作成年月日 令和3年3月30日

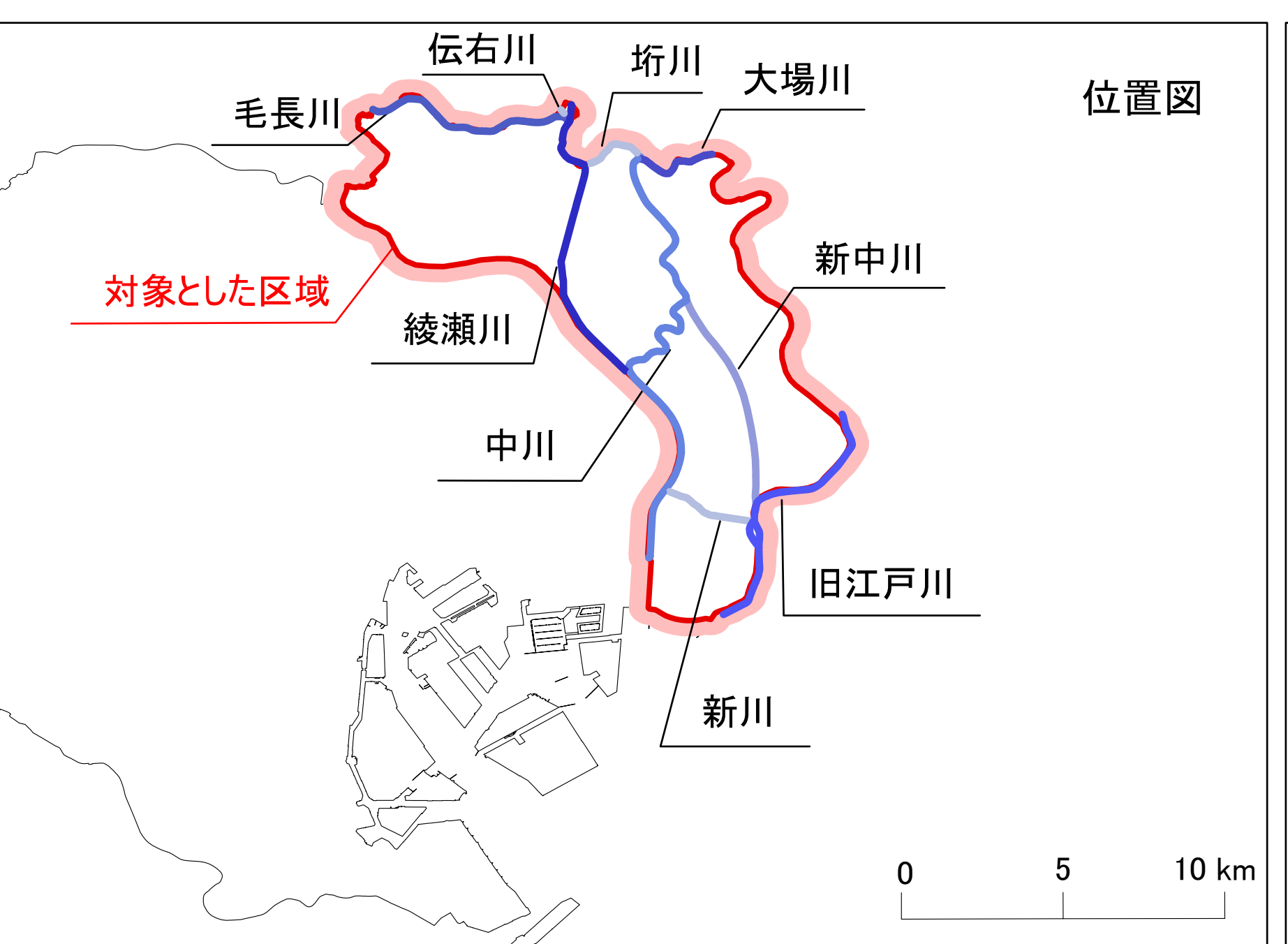
(3) 対象とした地域 利根川水系 中川、綾瀬川、新中川、旧江戸川、毛長川、大場川、伝右川、圀川及び新川流域
雨水が直接海域や国管理河川へ排水される区域等

(4) 対象とした降雨 想定最大規模降雨
(時間最大雨量 153mm)
(総雨量 690mm)

(5) 関係区 足立区、葛飾区、江戸川区

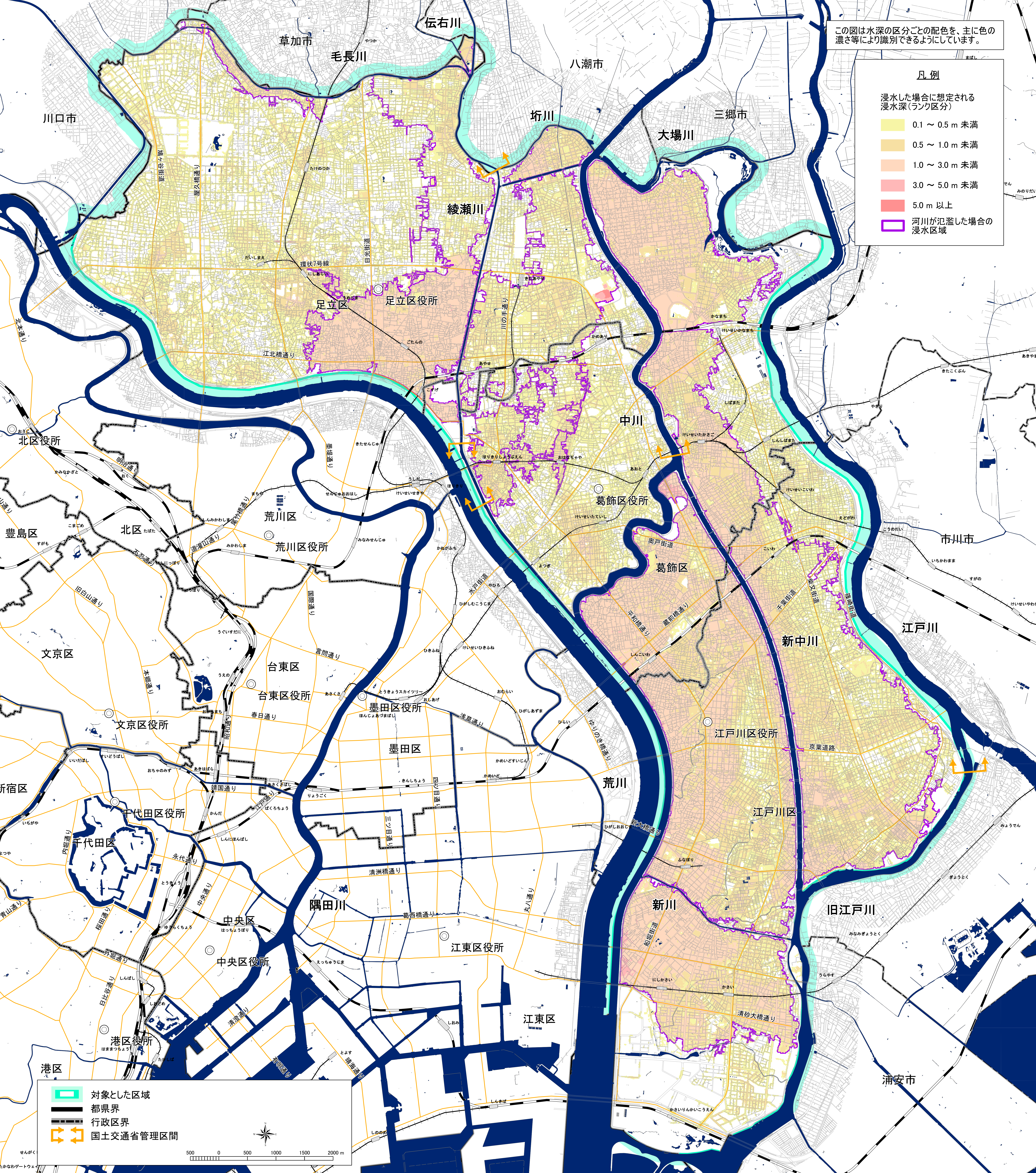
3. 注意事項等

一般的に河川沿いは低地であるため、浸水したときの水深が大きくなり注意が必要です。また、河川から離れていても、地盤が低い箇所等では、浸水したときの水深が大きくなるので注意してください。また、落ち葉による雨水ますの詰まり等により起きる浸水は、シミュレーションでは、反映しきれないため、注意してください。



【問い合わせ先一覧】

東京都建設局河川部計画課	03(5321)1111(代)
東京都建設局河川部防災課	〃
東京都下水道局計画調整部計画課	〃
足立区都市建設部企画調整課	03(3880)5111(代)
葛飾区地域振興部危機管理課	03(3695)1111(代)
江戸川区危機管理室防災危機管理課	03(3652)1151(代)



この図は水深の区分ごとの配色を、主に色の濃さ等により識別できるようにしています。

凡例

浸水した場合に想定される浸水深(ランク区分)
0.1 ~ 0.5 m 未満
0.5 ~ 1.0 m 未満
1.0 ~ 3.0 m 未満
3.0 ~ 5.0 m 未満
5.0 m 以上
河川が氾濫した場合の浸水区域

対象とした区域
都県界
行政区界
国土交通省管理区間